

聖徳大学／聖徳大学短期大学部
(A日程1)

国 語

(注 意 事 項)

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 『国語』は第一問と第二問を解答してください。ただし、受験学科が文学部文学科の人は、第一問を必須、第二問（近代以降の文章）、第三問（古文）のうちいずれか1問を選択し、計2問を解答してください。
3. 試験開始の合図があったら、問題冊子1部、マーク式解答用紙1枚があるか確認してください。また、ページの欠落や乱れ、または印刷の不鮮明な箇所があれば監督者に申し出てください。
4. マーク式解答用紙は、両面になっています。赤い色の面のみを使用し、青い色の面（数学）は使用しませんので、何も記入しないでください。
5. 問題冊子の指定欄に受験番号、氏名を記入してください。マーク式解答用紙については、受験学科、コース、受験日、氏名、受験番号、解答科目、試験場を記入し、受験番号をていねいにマークしてください。
6. マーク式解答用紙の注意事項は、必ず読んでからマークしてください。
7. 解答には、HBまたはBの鉛筆（シャープペンシル可）を使用してください。
8. 志望する学部・学科の受験科目については、裏表紙に記載してありますので、必須科目及び選択科目を確認のうえ解答してください。学科により指定科目が異なりますので注意してください。

受験 番号								氏名	
----------	--	--	--	--	--	--	--	----	--

国語

必須問題

全員が解答すること。

第一問 次の【文章Ⅰ】は「文学、フィクション、歴史」というタイトルのエッセイ、【文章Ⅱ】は中国の湖南省江永県に一九五〇年代まで伝わっていた、女性だけが使う表音文字「女文字（女書）」についての日本人研究者の文章である。これらを読み、後の設問（問一～問九）に答えよ。なお、問題文には設問の都合で省略した箇所がある。（解答はすべてマークシートに記入すること。）

【文章Ⅰ】

【文章Ⅱ】

(富山 太佳夫 『文化と精読』による)

(遠藤 織枝『中国の女文字』による)

(6)

問一 本文中の傍線部①～⑤に相当する漢字は何か。次の各群のア～オのうちから、同じ漢字を含むものとして最も適当なものを一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は①～⑤)

⑤

㉑ ダ|キヨウ

- ア 得点を追加してダ|メを押す。
イ ダ|ラクした生活を送る。
ウ その判断はダ|トウといえる。
エ とっさにダ|サンを働かせる。
オ 失敗の原因はタイ|ダ|にある。

㉒ トウシ|ヤ

- ア シュシ|ヤ|選択が求められる。
イ 器具をシ|ヤ|フツ消毒する。
ウ 流れをシ|ヤ|ダンする行為。
エ シ|ヤ|テイ|圈内に入る。
オ 晴れてシ|ヤ|メンされた。

㉓ ム|ツ|み

- ア 転んでダ|ボク|を負う。
イ 使者が送られワ|ボク|する。
ウ コウ|ボク|として役割を果たす。
エ ソ|ボク|な人柄がうかがえる。
オ 水にボク|ジユウ|を垂らす。

㉔ ソウシツ

ア 葬儀でモシユをつとめる。

イ 夏の間、雑草がハンモシユする。

ウ 他の学生のモハンとなる。

エ モツカンが発見される。

オ モツカ復旧の見込みはない。

㉕ アコガレ

ア 鉱物のケツシヨウがみえる。

イ 次第にシヨウサイが明らかになる。

ウ 図書館の活用をシヨウレイする。

エ シヨウドウ的な言動に出る。

オ 下級生からシヨウケイを集める。

問二 【文章Ⅰ】の傍線部A」

「とあるが、それはどうい

ことか。筆者の考えの説明として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は [6])

ア 歴史学における資料には、これまでの歴史研究におけるイデオロギーや権力というものに立ち向かうための存在価値があるということ。

イ 歴史学の研究の基盤になる歴史資料とは、歴史記述の総体であり、一つ一つの資料には書き記した人物の歴史が含まれているということ。

ウ 資料とは実在の人物が書き残した歴史記述のことで、それなしにはよりどころとする歴史研究のシステムを生み出せなかったということ。

エ 歴史学の研究においては、これまでの研究成果やそれによって構築されたイデオロギーなしに資料に向かうことができないということ。

オ はじめに資料を書き残した人物がどのようなイデオロギーをもっていたか知ることによって、歴史研究のシステムが構築されるということ。

問三 【文章Ⅰ】の空欄 [X] にあてはまる語句は何か。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その

記号をマークせよ。(解答番号は [7])

- ア 到達点 イ 分岐点 ウ 中間点 エ 立脚点 オ 転換点

問四 【文章Ⅰ】の傍線部B」

「とあるが、それはどういうことか。筆者の考えの説明として

最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は8)

ア 資料を選択するには研究者の歴史に対する先入観が不可欠であるため、歴史学の研究成果は空想を含んだフィクションに近いものとして現在に影響をあたえるということ。

イ 歴史資料を読む時には、研究者の現在における関心のあり方や前提としている研究システムといったものの影響を受けざるをえず、過去の再構築がおこるということ。

ウ 歴史研究においては、資料そのものの精読よりも、そこから構築されるフィクションともいべき現在の歴史的イデオロギーの影響力に注目がおかれるということ。

エ 歴史学の研究成果は、過去に対する知見をもたらすだけでなく、まだ現前していない未来にも影響を及ぼすという、一種のフィクションとしての役割があるということ。

オ 歴史学の研究者は、過去の真相を明らかにするためだけに歴史資料を読むのではなく、資料が内包する未来のシステムに与える影響をも重視しているということ。

問五 【文章Ⅰ】の傍線部C」

「とあるが、筆者はここでどのようなことが浮彫りになるといっ

ているか。その説明として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は9)

ア 研究の対象とする資料とは異なる言語体系によって、解釈したり記述したりする構造になっているということ。

イ 外国語で書かれた資料を読むことになるため、研究者の語学力が結論の差をもたらす可能性があるということ。

ウ 自国の資料を読む場合にはみられない、イデオロギーの違う言語体系で解釈する困難さが存在するという事。

エ 研究対象の資料が書かれた言語体系の内側にある研究者と、外側にいる研究者では結論が異なってくるということ。

オ 歴史資料を翻訳して読む場合には、翻訳者の能力や辞書の正確さといったものの影響が避けられないということ。

問六 【文章Ⅱ】の空欄 にあてはまる語句は何か。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は)

- ア 呉越同舟 イ 切磋琢磨 ウ 初志貫徹 エ 不言実行 オ 意気投合

問七 【文章Ⅱ】の空欄 Z にあてはまる語句は何か。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 11)

- ア 人間万事塞翁が馬か
- イ 七転び八起きか
- ウ 帯に短したすきに長しか
- エ 卵が先かニワトリが先か
- オ 芸は身を助けるということか

問八 【文章Ⅱ】の傍線部D「

」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 12)

- ア この地の女性たちの人生観は、女文字を使った、悩みや苦しみ、喜びを互いに共有し合うコミュニケーションによって育まれ、共同体の結びつきを強固にする役割を果たしたということ。
- イ この地の女性たちにとっての女文字は単なるコミュニケーション手段でなく、儀礼において重要な意味をもち、悩みや喜びを共有し励まし合う、人生全体を支える役割があったということ。
- ウ この地の女性たちは、女性同士でコミュニケーションする共同体を作り、女文字を記し悲しみや喜びを共有することで、個々の人生を超えた貴重な歴史的叙述を成し遂げていたということ。
- エ この地において、自由のなかった女性たちは、女文字を使ってさまざまな悲しみを書き記しコミュニケーション

クションすることでのみ、自分の人生における自由を手に入れていたということ。

オ この地の女性たちが残した女文字によるコミュニケーションは、文学のほとんど全てのジャンルを網羅するものであり、彼女たちの人生をフィクションの力で再構成できるということ。

問九 【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】の内容に合致するものはどれか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は13)

ア 【文章Ⅰ】は外国の歴史の研究についてのフィクションの影響という批判的な視点を提示し、【文章Ⅱ】は外国の歴史研究の意義を明らかにするケーススタディといえる。

イ 【文章Ⅰ】は歴史学の研究にはその前提となるイデオロギーが存在することを示し、【文章Ⅱ】はイデオロギーに染まらない、生活から生まれた歴史叙述があることを示している。

ウ 【文章Ⅰ】は歴史研究において現代の関心やイデオロギーの介入が不可避であることを示しており、【文章Ⅱ】の中国の女文字の報告もその一例としてとらえることができる。

エ 【文章Ⅱ】が挙げる日本人による中国の女文字の歴史研究は、【文章Ⅰ】で挙げられている既存の歴史研究のイデオロギー体系を脱構築する可能性を秘めたものといえる。

オ 【文章Ⅱ】にみえる女文字で記されたみごとに文学作品の数々は、【文章Ⅰ】にみえる現在の外国人研究者にとつての歴史的なフィクションとなりえる点で意義が大きい。

選択問題

文学部文学科の受験者は、第二問（近代以降の文章）と第三問（古文）のうち、いずれか一問を選択して解答すること。文学部文学科以外の受験者は、第二問を解答すること。

第二問 次の文章を読み、後の設問（問一～問八）に答えよ。なお、問題文には設問の都合で省略した箇所がある。（解答はすべてマークシートに記入すること。）

(菅原 健介編著『ひとの目に映る自己』による)

問一 本文中の傍線部(a)～(e)に相当する漢字は何か。次の各群のア～オのうちから、同じ漢字を含むものとして最も

適当なものを一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号はa || 14、b || 15、c || 16、d || 17、e || 18)

① シグサ

ア 現代社会の矛盾をフウシする。

イ 村に銀行のシテンを開設する。

ウ 採決では拒否権をコウシする。

エ 県の新しい条例をシコウする。

オ ホウシ活動で地域清掃をする。

② アワて

ア 経済的なキョウコウが起こる。

イ 戦争で人の心もコウハイする。

ウ 非常用の食糧をケイコウする。

エ 我が町の産業をシンコウする。

オ 常にコウミョウ心かられる。

③ カンキ

ア 現在の価値にカンサンする。

イ 裁判で証人をカンモンする。

ウ 事の成り行きをボウカンする。

エ 勝利者を群衆がカンコで迎える。

オ 業界人が集まってコウカンする。

㉔ イジ

- ア 食物センイは中性脂肪を減らす。
- イ イギョウを果たすため努力する。
- ウ 発掘調査で門のイコウが見つかる。
- エ 辞意を示した会長をイリユウする。
- オ 事件のケイイを詳しく説明する。

㉕ ウトまれ

- ア 物陰から突然ソゲキされた。
- イ 入院患者が医師にシユウソする。
- ウ あの人はソボウでよくケンカする。
- エ 協定が報道の自由をソガイする。
- オ 彼とは意思のソツウができない。

問二 本文中の空欄 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ に入る最も適当な語を次のア～オの中からそれぞれ選び、その記号を

マークせよ。ただし、語の使用は一回のみとする。(解答番号は① ㉑、② ㉒、③ ㉓、④ ㉔、⑤ ㉕)

- ア なぜなら
- イ ところで
- ウ いわば
- エ さらに
- オ しかし

問三 本文中の傍線部 A 1

「とあるが、それはどういうことか。その説明と

して最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 22)

ア 他者の視線の存在によって心のなかに生じる緊張感を軽減し、自分で自分を落ち着かせるように意識して行動をコントロールすること。

イ 他者の視線を意識することで、自分の基準ではなく他者の価値観に合わせ、他者の評価を得ようと自分の行動をコントロールすること。

ウ 自分が他者からどう思われているかを意識し、他者には自分のホンネを隠し続けてタテマエで接するように自分の行動をコントロールすること。

エ 他者の視線によって自覚させられる自分の現実の姿と理想の姿のズレを修正し、理想的な自分に近づくように行動をコントロールすること。

オ 他者の存在に注意を奪われてしまい、自分には注意を向けられない状態にあっても、あえて意識して自分の行動をコントロールすること。

問四 本文中の空欄「X」、「Y」に入る最も適当な語句を次のア～オの中から一つずつ選び、その記号を

それぞれマークせよ。(解答番号は X 23、Y 24)

- ア 我関せず イ 我を通す ウ 我を折る エ 我に返る オ 我を失う

問五 本文中の傍線部 B 1

「が明確にみられると考えられる行動の例は次の a～f

のうちのどれか。当てはまる行動の例の組み合わせとして最も適当なものを後のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は[25])

- a 授業中に先生の質問の答えが分かったとき、周囲の人が手をあげるのを待ってから自分もあげる。
- b 友人たちに興味のあるイベントに誘われたが、断って大学受験用の集中講座に出席して勉強する。
- c 目の前の相手がどういう人かをよくみて、どのように接するべきかを考えて自分の言動を変える。
- d 自分の行動に対して人から文句を言われても、自分が間違っていたと思えない場合は謝罪しない。
- e 自分が伝える必要があると思ったことは、相手が嫌な気持ちになりそうなことでもはっきり言う。
- f 電車に乗っているときは、自分の子供がふざけて走り回らないようによく言い聞かせて注意する。

ア a c f イ a d e ウ b c f エ b d e オ c d e

問六 本文中の空欄 [I] [V] に入る語句は何か。その組み合わせとして最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は [26])

ア	I	自己注目	II	自己制御	III	自己制御	IV	自己注目
イ	I	印象管理	II	自己注目	III	印象管理	IV	印象管理
ウ	I	自己制御	II	印象管理	III	印象管理	IV	印象管理
エ	I	印象管理	II	自己制御	III	自己制御	IV	自己制御
オ	I	自己制御	II	印象管理	III	自己注目	IV	自己注目

問七 本文中の傍線部C「

」と

あるが、それはどのようなことを言っているのか。その説明として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 27)

ア 人は、自分自身を安易な方向に流されないように監視し、行動をコントロールすることによって自分が理想とする自分に近づけることができるということ。

イ 人は、本来の自分自身のあり様を表現していくためには、他者に自分のいいところを見せたいという意識をコントロールしていくことが必要であるということ。

ウ 人は、周囲の人によく見られたいという意識に振り回されて本来の自分がわからなくなってしまっているので、評価を求める相手を限定するほうがよいということ。

エ 人は、自分自身の内にある欲求を意識してコントロールしていくことによってはじめて、社会人として認められるように振る舞うことができるということ。

オ 人は、周囲の人の評価を求めるあまり自分が理想とする自分の姿を見失ってしまいがちなので、人からの評価を求める気持ちを抑える必要があるということ。

問八 本文の内容と合致するものはどれか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は 28)

ア 人が他者の目を意識するとき、心のなかでは、自己注目、印象管理、自己制御、という三つの作業が互いに連動して一つのシステムとして機能している。

イ 人は自分を理想に近づけようとしつつも、社会の中で他者とともに生きていく必要があり、自分を他者に受け入れてもらうために印象管理の装置がある。

ウ 実験において、鏡より観察者を配置した場合に自己制御が明確にみられたことから、人の自己制御装置は他者の視線でスイッチが入ることがわかった。

エ 私たちは無意識のうちにホンネとタテマエを使い分けて社会のなかで生きているが、この心のシステムは日本人のみにみられる自己制御装置である。

オ 人は社会のなかで常に他者の目を意識して自分のホンネを隠し通して生きていかななくてはならないので、そのために自己抑制装置が機能するようになった。

選択問題

文学部文学科の選択問題。

文学部文学科以外の受験者は解答しないこと。

第三問

次の文章は、『今昔物語集』に収められた説話の一節で、近衛府の舍人（下級役人）である重方が、同僚た

ちとともに稻荷詣に出かけた場面である。これを読んで、以下の設問（問一～問六）に答えよ。なお、設問の都合で表記を変えた箇所、省略した箇所がある。（解答はすべてマークシートに記入すること。）

中の御社おほむじら近くなるほどに、参る人帰る人さまざま行き違ひけるに、えもいはず装束しやうぞくたる女会ひたり。濃（注一）き打ちたる表着うはぎに、紅梅萌黄こうばいもぎなど重ね着て、なまめかしく歩びたり。

この舍人しよにんどもの①来たれば、女走り去のきて木の本もとに立ち隠れて立ちたるを、この舍人ども安からずをかしきことどもを云ひかけて、あるいはうつ伏して女の顔を見むとして過ぎもてゆくに、重方はもとより好き好きしき心ありける者なれば、妻も常に云ひ妬ねたみけるを、然しからぬよし云ひ争ひてぞ過ぐしける者なれば、重方、中にすぐれて立ち留まりて、この女に目を付けて行くほどに、近く寄りてこまやかに語らふを、女の答ふるやう、「人持ち給へらむ人の行きずりのうちつけ心に（注二）のたまはむこと、聞かむこそをかしけれ」と云ふ声、極めて愛敬あいけいづきたり。

重方が云はく、「あが君（注三）あが君。あやしの者持ちて侍れども、しや顔は猿のやうにて、心は販婦（注四）にてあれば、『去りなむ』と思へども、たちまちに綻縫ほころひふべき人も無からむが悪しければ、『心付きに②見えむ人に見合はば、それに引き移りなむ』と深く思ふことにて、かく聞こゆるなり」と云へば、女、「これは実言まことをのたまふか、戯言たはぶれをのたまふか」と問へば、重方、「この御社の神も聞こしめせ。年来思ふことを。『かく参る験しるしありて、神の給ひたる』と思へば、いみじくなむうれしき。さて、御前おほむかみは寡（注五）にて**b**おはするか。またいづくにおはする人ぞ」と問へば、女、「ここにも、させる男も③侍みやつかへらずして宮仕みやつかへをなむせしを、人、制せしかば参らずなりしに、その人田舎にて**A**失あせにしかば、この三年は、『あひたのむ人もがな』と思ひて、この御社にも参りたるなり。実まことに思ひ給ふことならば、あり所をも知らせ

c 奉らむ。いでや、行きずりの人のたまはむことをたのむこそをこなれ。早くおはし^④ね。まろもまかりなむ」と云ひて、ただ行き過ぐれば、重方手をすりて額にあてて、女の胸もとに烏帽子^{えぼし}をさしあてて、「御神助け^{おほじかみ} 給へ^d。かかる侘^{わび}しきことな聞かせ給ひそ。B やがてこれより参りて、宿にはまた足踏み入れ^⑤じ」と云ひて、うつふして念じ入りたる髻^{もとり}を、烏帽子ごしに^Cこの女ひたと取りて、重方が頬^ほを山響^{やまびこ}くばかりに打つ。

その時に重方あさましく思えて、「こはいかにし給ふぞ」と云ひて、仰ぎて女の顔を見れば、早う、我が妻の奴の謀^{たほか}りたるなりけり。重方あさましく思えて、「わ御許^{おもと}は物に狂ふか」と云へば、女、「おのれはいかでかくうしろめたなき心はつかふぞ。この主^{ぬし}たちの、『うしろめたなき奴ぞ』と、来つつ告ぐれば、『我を云ひ腹立てむと云ふなめり』と思ひてこそ信ぜざりつるを、実^{まこと}を告ぐるにこそありけれ。おのれ云ひつるやうに、今日より我がもとに来たらば、この御社の御箭^{おほじや}目^め負ひなむものぞ。いかでかくは云ふぞ。しや頬打ちかきて行き来の人に見せて笑はせむと思ふぞ。おのれよ」と云へば、重方、「物にな狂ひそ。尤も理^{もつとことわり}なり」と笑みつつをこつり云へども、つゆ許さず。

その時、舎人ども、「よくし給へり。さればこそ年来は申しつれ」と讃^ほめののしる時に、女かく云はれて、「この主たちの見るに、かくおのれがしや心は見あらはず」と云ひて、髻^{ゆゑ}を免したれば、重方烏帽子の萎^しえたる引きつくるひなどして上さまへ参りぬ。女は重方に、「おのれはその仮借^{けさう}しつる女のもとに行け。我がもとに来たりては、必ずしや足打ち折りてむものを」と云ひて、下さまへ行きにけり。

(注)

- 1 濃き打ちたる表着に、紅梅萌黄など——光沢があり色鮮やかな着物を重ねて着飾っている様子。
- 2 うちつけ心——その場で起こした考え、出来心。
- 3 あが君——あなた。相手を親しみ、敬って呼ぶ表現。
- 4 しや顔——「しや」は、相手を卑しめ、ののしる意を添える語。後出の「しや頬」「しや心」「しや足」も同じ。
- 5 販婦——物売りの女性。ここでは品性下劣なことのたとえ。

- 6 寡——独身の女性。
- 7 わ御許——「わ」は親しみを表す接頭語。「御許」は女性に対する敬称。
- 8 この主たち——重方の同僚たち
- 9 この御社の御箭目負ひなむ——罰が下って矢傷を受ける、の意。
- 10 をこつり——機嫌をとる、の意。

問一 本文中の傍線部①②③の動詞の活用の種類は何か。最も適当なものを次のア～シの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号をマークせよ。同じものを二回以上選んでもよい。(解答番号は① || 29、② || 30、③ || 31)

- ア マ行四段活用 イ マ行上一段活用 ウ マ行下二段活用 エ ヤ行四段活用
- オ ヤ行上一段活用 カ ヤ行下二段活用 キ ラ行四段活用 ク ラ行上二段活用
- ケ ラ行下二段活用 コ カ行変格活用 サ ナ行変格活用 シ ラ行変格活用

問二 本文中の傍線部④⑤の助動詞の、ここでの意味は何か。最も適当なものを次のア～カの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号をマークせよ。同じものを二回選んでもよい。(解答番号は④ || 32、⑤ || 33)

- ア 断定 イ 推定 ウ 過去 エ 完了 オ 打消意志 カ 反実仮想

問三 本文中の二重傍線部 a、b、c、d の動詞について、以下の問いに答えよ。

(一) 敬語の種類は何か。最も適当なものを次のア、イ、ウの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号をマークせよ。同じものを二回以上選んでもよい。(解答番号は a || 34、b || 35、c || 36、d || 37)

ア 尊敬語 イ 謙讓語 ウ 丁寧語

(二) 敬意の対象は誰か。最も適当なものを次のア、イ、ウの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号をマークせよ。同じものを二回以上選んでもよい。(解答番号は a || 38、b || 39、c || 40、d || 41)

ア 重方 イ 女 ウ 神 エ 作者 オ 読者

問四 本文中の傍線部 A・B の解釈として最も適当なものを次のア、イ、ウの中から一つずつ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は A || 42、B || 43)

A 失せにしかば

ア 行方がわからなくなったら

イ 戻らないといっているので

ウ 離縁してしまったら

エ 死んでしまったので

オ 関係が絶えてしまったら

B やがて

A ゆっくり相談した上で

I 参詣を済ませて

ウ 落ち着くのを待って

エ しばらくしてから

オ このまますぐに

問五 本文中の傍線部C「この女ひと取りて、重方が頬を山響くばかりに打つ」とあるが、女がこのような行動に出たのはなぜか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解答番号は

44)

A 行いを慎むべき稲荷詣の最中に、重方が今の妻を裏切って別の女性との結婚を誓うという、非道な態度を見せたから。

I 夫がいると言っているのかまわず口説いてきたので、重方が浮気者であるという同僚たちの話が本当だとわかったから。

ウ 重方が、稲荷詣で出会った女性を口説く浮気者らしい態度に出たが、それが妻である自分の扮装と気づかなかったから。

エ 若く美しい女性を目の前にした重方が、同僚たちのそそのかしに乗って、妻である自分の顔や性格を悪く言ったから。

オ この三年、頼れる夫がほしいと思って稲荷詣をしていたのに、重方のような不実な男性にしつこく口説かれたから。

問六 この文章の特徴の説明として、最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークせよ。(解
答番号は〔45〕)

ア 稲荷詣で出会った女性にうつつを抜かして帰宅しない重方に対し、浮気相手のもとへ行ってしまえと強い態度に出る妻という、この時代の夫婦の姿が描かれている。

イ 良い相手との出会いを授かるべく稲荷詣に行き、裏切ったら罰が下るとまで口にする女性の姿からは、神仏にすがらざるを得ない下級貴族たちの苦勞がみえる。

ウ 妻がいながら女性とみれば口説かずにはいられない浮気者の重方が、衆人の前で同僚に懲らしめられるという展開には、因果応報のカタルシスが感じられる。

エ 稲荷詣の途中で出会った女性を口説く重方と、それに応えそうで応えない女性のやりとりの妙に、後半のどんでん返しが相まって、痛快な構成となっている。

オ 妻との離縁のきっかけを探していた重方と、密かに他の男性との出会いを求めた妻が、稲荷詣でその隠しごとを衆人に知られるという展開の巧みさが際立っている。

試験科目

学部	学科・コース	必須科目	選択科目
教育学部	児童教育学科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。
心理・福祉学部	心理学社会福祉学科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。
文学部	文学科 教養デザインコース	—	選択科目①と選択科目②を受験する。 選択科目① 「国語」、「英語」から1科目選択。 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択。
	文学科 国際文化コミュニケーションコース	「英語」	「国語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」から1科目選択。
	文学科 日本語・日本文学コース	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」から1科目選択。
	文学科 書道文化コース	「書道実技」	「国語」、「英語」から1科目選択。
	文学科 歴史文化コース	—	選択科目①と選択科目②を受験する。 選択科目① 「国語」、「英語」から1科目選択。 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択。
	文学科 図書館情報コース	—	選択科目①と選択科目②を受験する。 選択科目① 「国語」、「英語」から1科目選択。 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択。
	人間栄養学部	人間栄養学科	—
看護学部	看護学科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。
音楽学部	音楽学科	「国語」	「英語」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択。
短期大学	保育科	—	「国語」、「英語」から1科目選択。
	総合文化学科	—	「国語」、「英語」、「数学Ⅰ、数学A」から1科目選択。